

令和6年度自己評価結果公表シート

学校法人聖リゴリオ学園

ちのせいぼ幼稚園

I. 本園の教育目標

1. 神様に愛されている喜びを知り、思いやりのある子どもを育てる。
2. 自分で考え行動するための生きる力を育てる。
3. 相手の目を見てしっかり挨拶のできる子どもを育てる

な	仲間を大切に
か	感謝の心を忘れずに
よ	よく考えチャレンジし
し	親切で優しい心を育てます

II. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- 年長児 様々な体験を通して、達成感や充実感を味わい、意欲的に活動に取り組む
- ・友だちと力をあわせ、助け合いの心を育む
 - ・困難なこともあきらめず取り組み、達成感や喜びを味わう。
- 年中児 相手の思いを受け入れ、自分の思いを素直に伝える
- ・自分の思いや考えを伝えるとともに、相手の思いにも気づき受け入れようとする。
- 年少児 園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分なりにやってみようとする
- ・安心して園生活を送り、自分をのびのびと表す。
 - ・保育者や友だちに親しみを持つ。

III. 評価項目の達成及び取組状況

評価の基準 A:十分達成できた B:おおむね達成している
 C:あまり達成できなかった D:ほとんど達成できなかった

評価項目		取組み状況	評価
幼稚園管理運営	幼稚園の教育目標と重点目標の周知	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 幼稚園の教育目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知している。 ◆ 全職員で共通理解を計りながら、クラス、学年、園全体の教育活動の充実を図っている。 	A
	危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 危機管理マニュアルの中で、各職員の役割を明確にし、周知徹底している。 ◆ 避難訓練を計画的に実施し、緊急事態への備えを万全にしている。 ◆ 園内での事故を無くすための工夫と努力が十分になされている。 	A
	家庭、地域、関係機関への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 園から適切な情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を高める取り組みをしている。 ◆ 参観日や行事へ参加しやすいように日程を配慮し、定期的実施している。 ◆ 機関との連携が十分なされるよう努力している。 	A

教育活動	教育目標に基づいた教育計画の編成と実施のための教職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 宗教教育の方針に沿い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ◆ 教育の分野・家庭に添い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ◆ クラス・学年の活動の中で、社会性を育むよう指導がなされている。 ◆ 心をこめた挨拶ができるよう、自らが手本となり十分な指導がされている。 ◆ 子どもの想像力や行動力を豊かに育むための指導を積極的に行なっている 	A
	発達段階に則した適切な幼児の環境理解	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1人ひとりの子どもを大切にし、発達段階に応じた適切な指導、援助を徹底している。 ◆ 自主的、主体的に取り組めるよう、環境に十分配慮を行なっている。 ◆ 身近な自然や社会と関わり、豊かな情操が育めるよう環境に十分配慮している。 	A
	幼稚園と小学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 就学に向け、学校での教育内容や生活について情報を収集し、適切かつ十分な指導を行なっている。 ◆ 配慮の必要な子どもについて、必要な情報を小学校と共有し十分な連携が行われている。 ◆ スムーズな小学校入学のために、幼保小で連携し接続期カリキュラムに取り組んでいる。 ◆ コロナ感染症5類移行後、地元の小学生との交流が再開できた。 	B
	教員の資質向上、研究、研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学園研修・園内研修に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ◆ 外部の研修会や研究会（リモート研修含む）に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ◆ キリスト教精神に基づく奉仕と感謝のところで他の職員と協力して前向きに日々の職務にあたっている。 	A

IV. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>【総合評価】</p> <p>A</p>	<p>「子どもたち主体の保育」の実現を目指し、ねらいや目的を明確にして様々な教育活動の改善に取り組んできた。外部人材の招聘を行い、園内研究授業・研究会を行うなど、教育の充実を図った。また、モンテッソリー教育の研修や様々な研修会に参加し、教員の質の向上を図った。保育内容・行事・保育教諭の子どもへの関わり方等、全てについて高評価を頂き、日頃の努力の成果が表れた。</p> <p>また、ラインアカウントを開設し子育て支援の案内等に力を入れ、様々な活動を行った。好評で参加者が増えた。</p>
------------------------	---

V. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもの学びを更に質の高いものにしていくために、子どもの声を拾い、子どもが興味関心のある創造的な教育活動を充実させていく必要がある。 ◆ 預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか子どもの様子をお伝えできない。安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、園でのお子様の様子を伝える方法を工夫していく必要がある。 ◆ 幼稚園で行っている教育活動等の意味やねらいを保護者にも理解していただけるように丁寧に伝えていく。 ◆ 教職員間の伝達事項、共通理解、情報共有を徹底し、連携して保育にあたる。 ◆ コロナ感染症のため出生数が減少した今年度は新入園児が大幅に減少した。来年度は様々な取組が功を奏し、新入園児が例年並みに回復した。今後少子化が進む中、園児数を保持していくために魅力ある幼稚園教育・運営が課題となっていく。
--

VI. 学校評価委員会の評価

総合的に見ておおむね達成できているという評価を得た。その他下記の様な意見を頂いた。

- ・幼稚園でたくさんの行事や活動が行われ、子どもたちの体験が豊かである。心に焼きつくような体験を重ねている。いい幼稚園だと思う。
- ・行事に対して、保護者も先生方もアンケートの評価が高い。子どもたちも先生方も達成感を味わっている。
- ・高校入試・大学入試が変わってきている。自分がどんな体験をしてきて、入学後その体験したことを使って何をしたいかが問われる。豊かな体験を積み重ねていくことが大切。
- ・どの項目も高評価であり、驚いた。
- ・子どもたちの聴く姿勢がとても良いです。集中して話を聴く姿や少々抵抗のある課題にも楽しそうに取り組む姿に保育園との違いを感じました。
- ・園の教育理念がしっかりとしている。社会の変化に対応しながら、子どもに必要なことに取り組んでいる。
- ・毎年「幼稚園のルールが通用しない園外の子との関わりになると遠慮がちになる、弱気になってしまいがち？」という保護者の意見がある。1年生を5回受け持った経験から言えば、1学期過ぎればみんな同じ。入ってすぐに自分を出せる子もいれば、自分を出すまでに時間のかかる子もいる。せいぼの子は奥ゆかしさがあり、一人ひとりの子は内に秘めている力がある。保護者には、入学したばかりではなく、もう少し先の力を見てもらえるとよい。
- ・先生方の熱意と子ども一人ひとりを大切にするという思いが伝わってくる。
- ・風通しがよく、先生方がやりがいを感じていることが大切。
- ・保護者からいただいた意見や要望を一つ一つ大切に回答も丁寧なされていて、誠意を感じました。

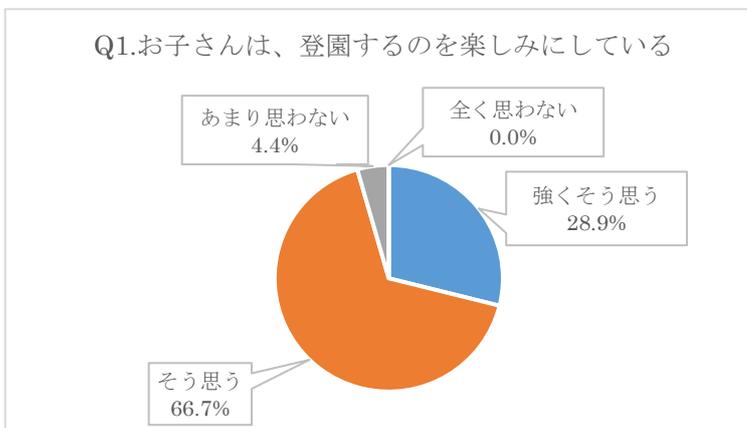
VII. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

VIII. 保護者アンケート集計結果

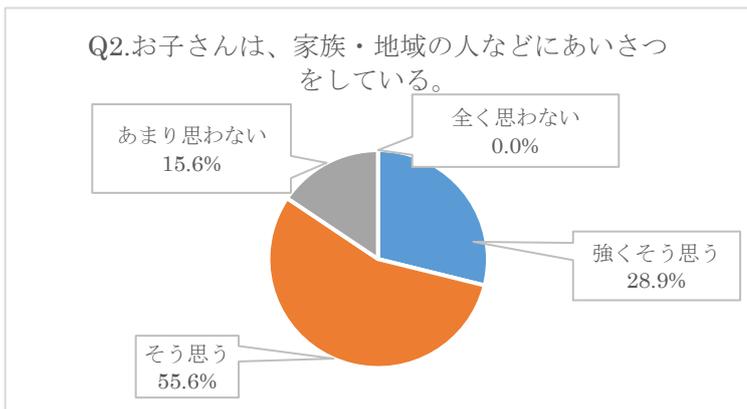
1 アンケート集計と結果

(1) 「幼稚園に行くことが楽しい」について



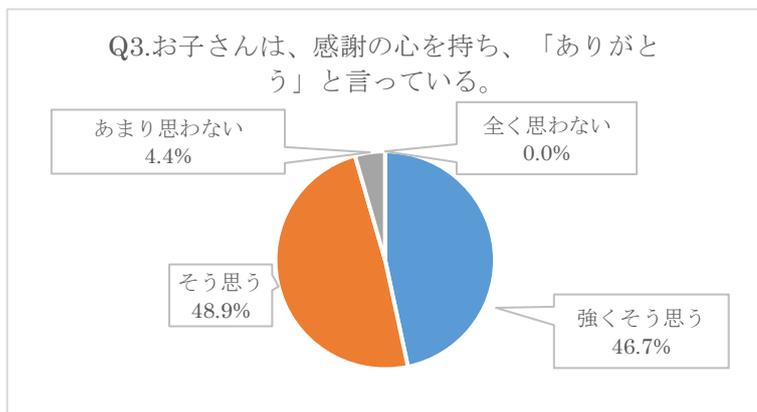
保護者が肯定的に回答している割合は、90%を超えた。概ね良好な結果といえることができるが、否定的な回答をしている4.4パーセント(園児2人)についても、しっかりと受け止めていく必要がある。背景には、遊び、友だちや先生との関係、園生活における様々な要因が考えられるので、園児の日常の様子、感じ方や考え方を把握し子ども理解を深め、改善を図っていく必要がある。今後も全ての園児にとって、園が楽しく、期待感をもって登園することのできる幼稚園を目指し取り組んでいきたいと考える。

(2) 教育目標「あいさつ」について



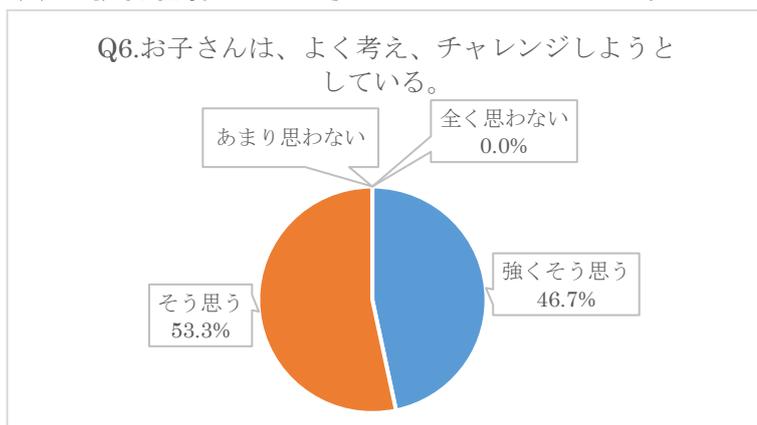
保護者が肯定的に回答している割合は84.5%であった。今後も教職員から進んであいさつをし、友だち同士でも、友だちのお父さんお母さんにもあいさつができるように取り組んでいきたい。

(3) 教育目標「感謝の心をわすれずに」について



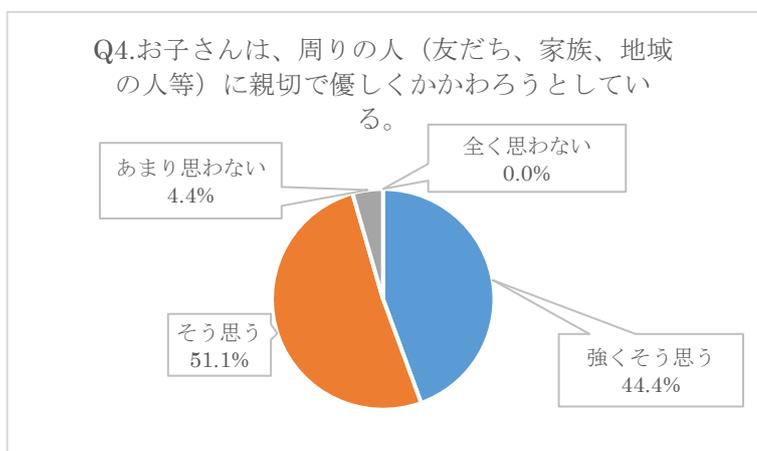
A、Bと肯定的に回答している割合は95.6%であった。教職員も感謝の心を忘れに、子どもたちのお手本をなるように取り組んでいきたい。

(4) 教育目標「よく考え チャレンジしようとしている」について



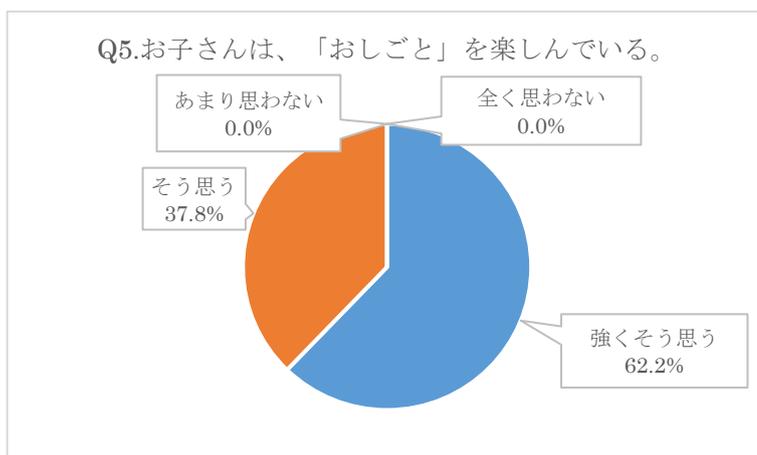
肯定的に回答している割合は100%であった。園の生活の中では、新しいことや難しいことにも挑戦していこうとしている子どもたちの姿がたくさん見られる。そんな姿を家庭にもしっかりと伝えていく必要がある。また、子どもたちの現状より少し高い課題、難しいことにも挑戦する、といったことに夢中になって取り組める学びを積み重ねていきたい。

(5) 教育目標「親切でやさしい」について



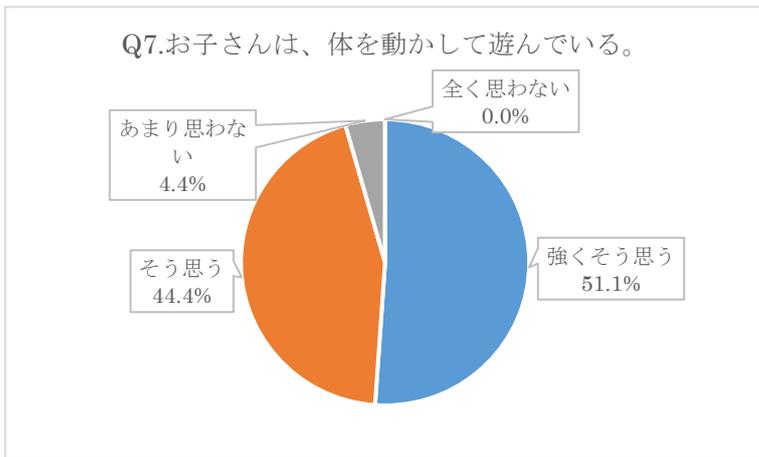
肯定的に回答している割合は95.6%であった。「A強くそう思う」が44.4%と大幅に増えた。本園では日常的な園生活の中で、縦割り活動・横割り活動、地域の方々との交流等、様々な取り組みをしている。また、保護者の皆様も「親切で優しい思いやりのある子ども」に育てて欲しいと多くの方々が考えている。両者の取り組みが、よい結果に繋がっていると考え。あまり思わないと回答した2名については、保護者の話を伺い個別に対応していきたい。

(6) モンテッソーリ教育「おしごと」について

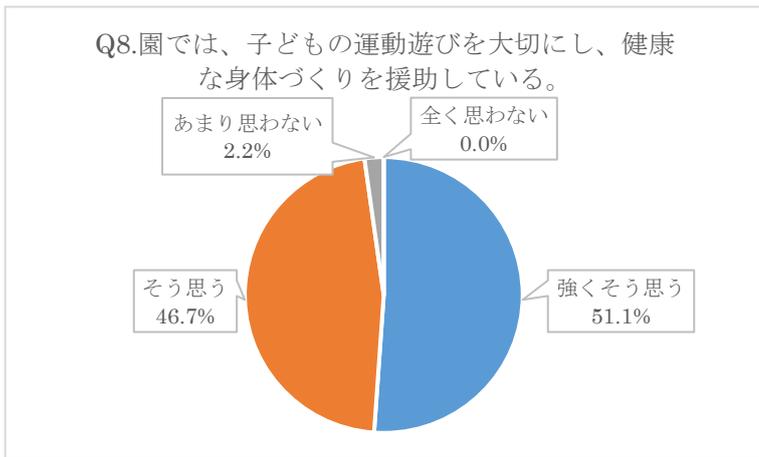


肯定的に回答している割合は100%であった。子どもたちが「おしごと」を楽しんでいることが伺える。集中して取り組み力も育ってきている。子どもの興味・発達段階・適時性をつかみ、その子にあった「おしごと」を提示したり、先生方もモンテッソーリ教育についての研修を積んだりし、「自分で選び、考え、工夫し、やり遂げる力」を伸ばしていきたい。

(7) (8) 「体を動かし遊んでいる」「運動遊びを大切にし、援助している」について

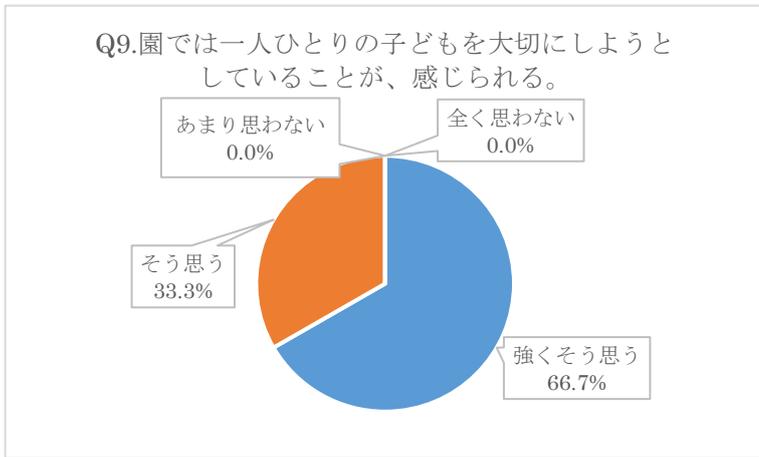


Q7 は肯定的な回答は95.6%。であり、昨年度よりも増加している。そう思わないと回答している割合は4.4% (2名)である。この結果の背景には、子ども個々の差異があるのではないかと考えられる。小中学校の全国体力運動能力調査では、運動する子と運動しない子の二極化が指摘されている。



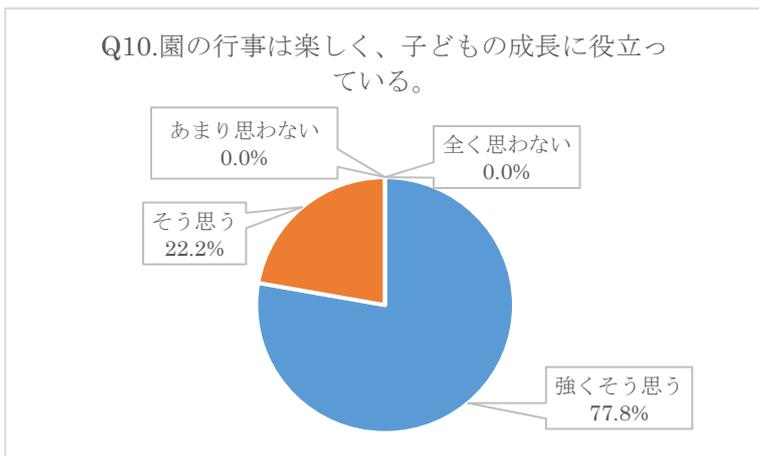
Q8 では、肯定的な回答は97.8%であり、つよくそう思うが51.1%と大幅に増加した。体操参観や保育園参観を通して、幼稚園の取り組みを理解していただいた結果と考える。
本園では、外部講師を招いての体操指導や毎朝のサーキット遊び等を取り入れ、園児は比較的体を動かし遊んでいるが、個々の現状を見直し、子どもが遊びに夢中になる中で、楽しく体を動かせるように改善を図っていきたいと考える。

(9) 「ひとり一人の子どもを大切にしようとしている」について



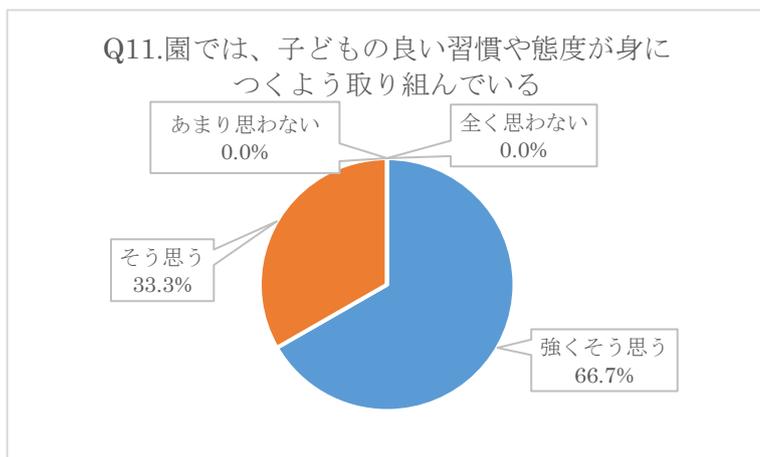
一昨年度、昨年度に続き、今年度も肯定的な回答を100%いただき、大変感謝している。また「強くそう思う」が66.7%であった。今後もひとり一人をよく見て、その子の思いや願いを汲み取り、その子の個性を伸ばせるような関わりを続けていきたい。

(10) 園の行事について



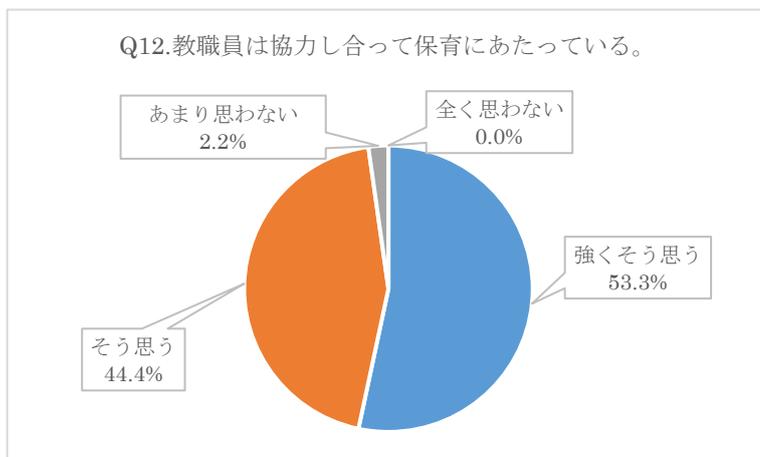
昨年度に続き、肯定的な回答は100%であった。強くそう思うという回答も同程度である。保護者の皆様のご支援・ご協力を頂き、行事を通して、子どもたちの大きな成長が見られた。今後も、子どもたちの成長のために何を大切にするかを考え、子どもたち・保護者・保育者が共に満足できるようなものとなるよう創意工夫をしていきたい。

(11) 「よい習慣や態度が身につくように取り組んでいる」について



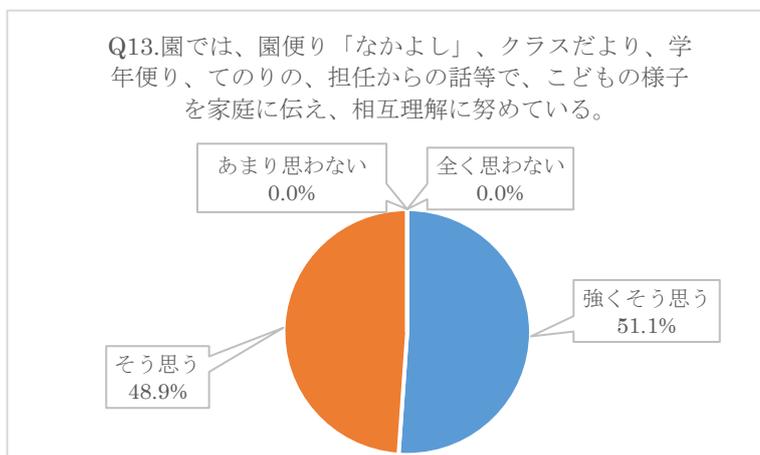
昨年度に続き、肯定的な回答は100%であった。保護者の皆様も「よい習慣や態度が身につくようにしたい」と願っている。本園と保護者の両者の取り組みが、よい結果に繋がっていると考える。

(12) 「教職員は協力し合っている」について



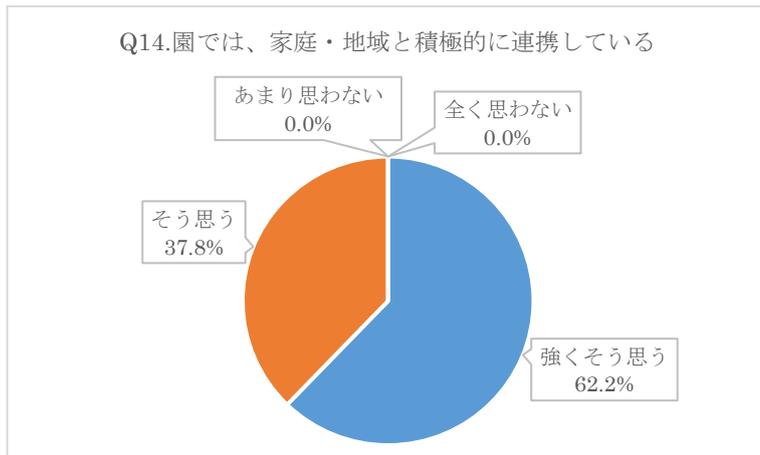
肯定的な回答は97.8%であり、強くそう思うという回答が大幅に増えた。保護者の皆様の温かな評価に感謝しています。あまりそう思わないという意見も真摯に受けとめ、これからも協力しあって保育にあたっていきたい。

(13) 園では、子どもの様子を家庭に伝え、相互理解に努めている。



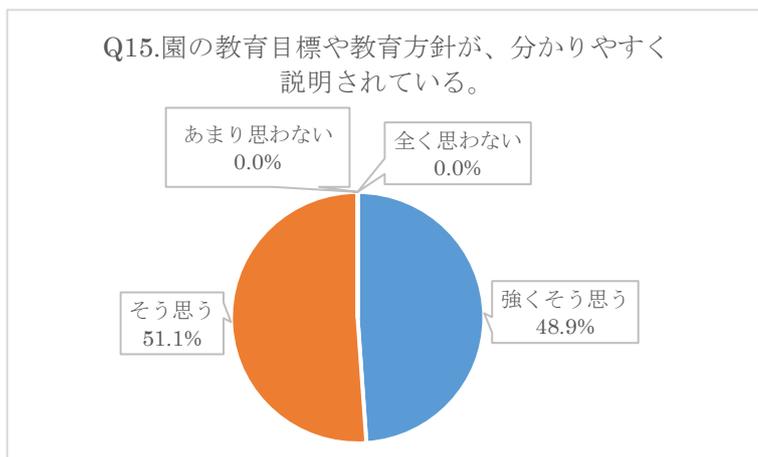
肯定的な回答は100%であったが、昨年度から、園では課題として捉え改善に取り組んできた。園だより「なかよし」、クラスだより、学年だより、パステルApps、電話連絡、個人懇談等を利用し、出来得る限り努めている。しかし、預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか様子をお話できない現状がある。また、園でのお子様の様子を知っていただくことが十分ではなかったと考えている。保護者の皆様に安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、今後も相互理解が図れるように努めていきたい。

(14) 園では、家庭・地域と積極的に連携している。



肯定的な回答は100%であった。保護者・地域の皆様にもご支援・ご協力をいただき感謝している。地域に開かれた園を目指し取り組んできているが、地域に根付いている公立の園と比べると活動は少なく感じられるかもしれない。私立の幼稚園であること、また多方面の地域から在園している園児が多い中で、どのような活動をするのが地域に開かれた園となるのかは、今後も引き続き考えていきたい。仲町区との皆様との交流(畑作り、焼き芋)、紙芝居・語りボランティアの方々との交流、また子育て支援には引き続き、積極的に取り組んでいきたい。

(15) 園の教育目標や教育方針が、分かりやすく説明されている。



肯定的な回答は100%であった。更に、教育目標や方針を理解して頂けるような取り組みを進めていきたい。

2 令和6年度 保護者アンケート記述内容より

(1) 本園の子どもの良さは、どんなことですか？

《宗教教育に関わって》

- お祈りや先生方の関わりによって、感謝の心が少しずつ育っているのかなと感じます。

《縦割りクラス編成に関わって》

- 縦割りのクラスであることで上の子と接する機会が増え、そこからの刺激は大いに受けていると感じる（上の学年の子の様になりたい、など）。
- 年長児を良い手本にし、自分より下の子を積極的に世話をしようという気持ちがみんなあり、優しさと責任感が自然と育つところ
- どの子も自分よりも小さな子のお世話をして優しくしようとしているところ。
- 子どもたちみんなが仲良く、クラスも関係なくコミュニケーションがとれていて良いと思います。
- みんなと声を掛け合って過ごせる子どもたちであること
- 年齢に関係なく、関わり遊べていること
- 朝、登園する際にしぶる娘と手をつないで歩いてくれる優しく思いやりのあるお友だちがおり、感謝しております。
- 縦割りクラスの中でサポートしたりお手本にしたり、大人が介入しなくてもお互いに成長している場面がある。
- 縦割りクラスで兄弟姉妹がいなくてもお兄さんやお姉さんの立場になる意識ができています。

《モンテッソーリ教育を通じて》

- 物事に集中して静かに取り組むことができる
- 好きなお仕事に集中して取り組むことができる。
- 我が子に関しては1つのことにじっくり取り組むことが増えたように思う。
- お仕事を通しては、集中力や最後までやりきる事、考える力など精神面で成長できる

《優しく、思いやりのあること》

- 年下に優しくできる
- 人を思いやることができる
- 自分も他人も慈しみ、思いやりのある子どもであること。自ら考え行動して成長できること。
- 明るく元気なだけではなく、他人を思いやり、助け、協力できる良さがある
- みんな小さいながら相手のことを思いやりながら生活していると感じるところ
- 明るく元気なだけではなく、他人を思いやり、助け、協力できる良さがあると思います。

《あいさつやお礼が言えること》

- お友達にもお友達の親にも声をかけて、挨拶をしてくれるところがありとても素晴らしいです。
- あいさつやお礼などが自然に言える。
- いつも感謝する気持ちを持っているように思います。
- 同じ年頃の子供と比べて礼儀正しい

《落ち着いている、話が聞ける》

- 落ち着いている。(複数)
- 同年代の子と比べて落ち着いている
- 落ち着いていて穏やか。先生や神父様のお話や読み聞かせを落ち着いて聞いている子供たちが多い。

《個性を伸ばすことに関わって》

- 子供たちの個性を大切にしてもらっているの、ひとりひとり輝いている。
- 一人ひとりの個性を大切に、仲間と仲良くする環境にある
- 子供が考え、自由に行動出来ているところ。
- 一人一人に目を向けて、真剣に取り組んでくれるところ。

《その他》

- いろんな経験を通して、出来ることが増える喜びを知っている。またみんなで出来るようになるために協力できる。
- お祈りの時間、お仕事の時間、お話を聞く時はしずかに、外で遊ぶ時はおもいっきり3年間を通じて成長がみられる
- のびのびと育っている
- 明るい元気いっぱい
- みんなとっても明るくて元気いっぱいでのびのびしてるところが子供らしくていい
- 楽しそうな表情をしている子どもが多いなと感じる
- 元気、優しい、人の話を聞ける
- 素直で、キチンとしている
- 先生がみんな大好きなようにみられ、先生に反発せず、ルールや約束を守れるところ

○たくさんよさが挙げられている。よさとして多く挙げられているのは、「異年齢の子どもたちが仲良くしようとしている」「優しく思いやりがある」「モンテッソーリ教育を通して集中して取り組めるようになった」であった。保護者の皆様・園の両者の願いや連携した取り組みが、よい姿に繋がり、よさとして評価して下さっている。これからも園の方針を保護者に伝え、家庭や地域と共に、子ども一人一人を大切に子どもが主体的に取り組めるようサポートをしながら、本園の子どものよさを伸ばし続けていかれるように努めていきたい。

○今年度はお友達のお家の人にも挨拶ができるように、機会あるごとに働きかけてきた。保護者会でもスローガンに掲げ、保護者の皆様が自ら園児や園児の保護者にも挨拶をして下さったお陰で、園児同士、園児の親同士が挨拶をする姿が増えてきた。ありがとうございました。

(2) 本園の子どもの課題は、どんなことですか？

《子ども同士の繋がりについて》

- 幼稚園のルールが通用しない園外の子との関わりになると遠慮がちになったり、弱気になってしまいがちな？と思います。

《保育に関わって》

- 外での遊びや散歩の時間を増やし、自然との触れ合いを大切にしてほしい。また運動能力低下にならないよう活動して行ってほしい。

《その他》

- 子ども達には課題があるように感じません。毎日1人1人が一生懸命自分の気持ちと登園・おしごと・日々の自分がやる事・甘えたい事選択をして行動していると思います。
- 子供の性格は人それぞれなので、何かあったとしてもよほどのことがない限り課題と捉える必要はないと思うし、何かあったとしてもよほどのことがない限り何かを変える必要もないと思う。
- 人数がすくなくなっていること…
- 家とは違い律して生活していると思います。
- 特にありません（複数）。
- わかりません（複数）

- 課題としては、人との関わりやコミュニケーションについて挙げられている。多くの人と関わる力をつけていく必要がある。小学校入学に向けて、幼保小連携の中で、本園の子どもたちの具体的な良さ、卒園生が小学校でも生き生きと活躍している姿を積極的に保護者にも発信していくことができるとよい。
- 「あそびの質を深める」「自然との関わり」「体を使うこと」等、保育の質を更に高められるよう、教職員も研修し研鑽に努めたい。
- 全教職員で子どもたちを見守り育てているという意識をもち、学年別での活動や様子を担任の先生も把握し、またクラスでの活動や様子についても学年担当の先生も把握できるよう、情報共有し子どもの保育に生かしていきたい。

(3) どのような子どもに成長してほしいと願っていますか？

《優しく 思いやりのある子どもに》

- 思いやりの心を持った子
- 思いやる心を持って誰とでも仲良くできること。誰もが偏りなく接する事ができる関係を築いて欲しい
- 周りの友達のこととも考えられる思いやりのある子ども
- 互いを尊重しあい、優しく元気な子供に成長してほしいです
- 誰にも親切で朗らかで優しい子どもになれるように、誰かの役にたちたいと思える子どもになってほしいと思います。
- 思いやりを大切に素直で、感謝の気持ちを忘れず、自ら考えて行動できて、他人を大切に、仲間を大切に協力出来る。芯をもった思いやりのある優しい子どもに成長してほしいと願っております。

《多様性を認め合える子どもに》

- みんな違いを認め合える強さと優しい子に成長してほしいと思います。

《自分も、まわりの人も大切にできる子どもに》

- 人にも自分にも優しく、強い心を持った、心身ともに健康で明るい子に成長してほしい
- 優しく人と自分を大切にできる

《個性を伸ばして》

- 子供達が個性を伸ばしつつ、優しい気持ちを持った子どもに成長してほしい。

- 楽しいや好きにたくさん出会えるといいなと思います
- 自分の好きなことや自信のもてることをどんどん伸ばして行って、自分のことを好きになれる子ども。
- 自分の好きなこと関心のあることにじっくり取り組み、そうする事で自信を持てたり、自己肯定感を高めたりしてほしいと思っています。
- 元気にたくましく育ってほしい。いろんなことを経験することで一つでも好きなものを増やしてほしい。
- 個性を尊重し、思いやれる子供。また、あいさつや最低限のマナーなどきちんと行動に移せる子供。
- 自分の好きなことを追求できる

《自分で考えられる子どもに》

- 自分で考え、行動する力を身につけてほしいです。

《自分の考えを伝えられる子どもに》

- 自分の意見をきちんと伝えられ、人の考え意見も聴けるような子になってほしい。
- 素直に自分の気持ちを表現出来る子ども
- 自分の気持ちをしっかり相手に伝えられる、子供らしい子供。

《チャレンジ・挑戦する子どもに》

- 自分を持ってポジティブな子達に成長してほしいです
- いろんなことに挑戦して、成功、失敗を繰り返しながらたくましく成長して行ってほしい。
- 健康で誰にでも優しく、色々な事にチャレンジをし、笑顔いっぱいの子供に成長して欲しいです。
- 元気にやりたいこと、好きなことを見つけ、挑戦しながら成長してほしいです。
- 頑張ろうという気持ちを持ち続けられる人

《感謝のできる子どもに》

- 周りの物、人、など全てのものに感謝の気持ちを持っている子
- これからも感謝の気持ちを持ち続け、自分の個性を失わずに成長してほしいと思います。
- 他者に対して寛大な心で接する人、感謝の気持ちを忘れない人 になってほしい

《その他》

- 困難にぶつかっても神様がいつもみていることを忘れずに乗り越えて幸せになってほしい
- みんなが毎日幸せな楽しい気持ちで自宅に帰れたらいいなって思います。(頑張る事は頑張りながら)ケンカもする時もあると思います。でもそう思っています。

○「思いやり」「優しさ」を記述している保護者が多い。相手のことを考え、助け合いながら、自分も友達も大切にし、子どもがよい友達関係を築きながら、園生活を送って欲しいという強い願いが表れている。

○自己肯定感、自分自身の成長の実感を高めていくには、「励ます」「認める」ことが欠かせません。園でも家庭でも、大人も子どもと同じ姿勢で同じ活動・行動をしていく中で、子どもと共感し感動することを大切にしていきたい。そして、その子なりの頑張りを認め、適時性のある励ましなど、子どもの日々の姿を温かく見つめ、成長の芽を発見し伸ばしていきたい。

○他に挙げられているものも園で目指している方向と全てつながっている。保護者にも園で目指している方向が浸透していることが伺える。子どもたちの成長や変容を保護者に積極的に伝えていきたい。

(4) 日頃お考えになっていることやご要望がありましたら、お書きください。

《保育について》

- 通うならばちのせいぼ幼稚園としか考えておりませんでした。実際に入園させていただいて、もうすぐ一年が経とうとしています。園での生活や様々な行事を通して、また先生方、園の仲間たちに恵まれて、子どもの成長に感謝しております。充実した園での生活を送れていることに、本当に茅野聖母幼稚園を選んで良かったと思っています。大切な幼少期を茅野聖母幼稚園で過ごすこと嬉しく思います。今後の子どもの成長を楽しみにしています。
- 3歳児の入園、言葉の発達や足のバランス感覚等、心配している面もありながらの登園生活でしたが、おかげさまで日々子供の成長を感じています。登園させていなかったら、ここまでの成長はしていないと思います。
- 3年間、息子は幼稚園を通して色々な経験ができました。これからの人生の糧になるとおもいます。

《教職員について》

- 先生やサポートが厚く感謝しかありません。
- 我が子の成長を共に喜んでくださる先生方には感謝しています。
- 子育ての悩みや大変さも共有できてとても心強いです。
- 先生方にはいつも尽力していただき頭が上がりにません。
お体気を付けて保護者に出来ることはさせていただきますので言って頂ければと思いますので、よろしくお願ひします。
- 幼稚園の先生方にはいつも本当に感謝しています。本当にありがとうございます。ほぼ毎日わくわくしている気持ちで登園し楽しみながら日々ご指導もいただきながら幸せな気持ちで帰ってきていると感じます。担任の先生、学年別の先生、周りの線方が支えてくださっているおかげです。ありがとうございます。
- いつも子どもたちのために、懸命に動いていただきありがたく思っています。子どもが成長するタイミングを見極めてもらえ、とても自信がついた一年になりました。ありがとうございました。
- 先生方が穏やかで、笑顔が素敵だなと感じています。こども一人一人の気持ちに寄り添おうとしてくださっているのが分かります。ありがとうございます。これからも宜しくお願ひ致します。
- 先生方にはいつもお世話になりまして、本当にありがとうございます。
卒園まで残り少ないですが、どうぞよろしくお願ひします。

《家庭との連携について》

- 通常お迎えだと担任の先生がとてもよく教えてくれるが、預かり保育を利用した日にもその日の活動内容がわかるようにホワイトボードなどで簡単にお知らせいただくと子どもとの会話が広がって嬉しいです。(子供が自分から教えてくれることが一番ですが、なかなかそうならないので。)
- 縦割りの良さが保護者には分かりづらいかもしれません。

《パステル Apps アプリについて》

- アンケートアプリの自由記述に回答しているのに、それを一定時間アクセスがないからと入力できなかったことになるのは困る。一時保存機能をつけたり、タイムアウトまでの時間を伸ばすなどしてほしい。

《アプリ「てのりの」について》

- 日頃については、子供の様子をよく見てくれていると感じるのでとてもありがたく思います。
要望としては、連絡帳が無いのでお迎え時の先生との会話は必要だと思っています。もっと様子を知りたいので、先生との面談の回数がもう少しあったらいいなと思いますが、年間計画表をみれば現実的には難しいかと思っています。もっと「てのりの」を活用していただくとありがたいです。
- アプリの「てのりの」が活用されていないのが気になる。

《預かり保育について》

- 可能であれば、お預かりの時間の DVD を短くしてもらえると嬉しいです。

《安全対策について》

- 今年度は意見なし

《環境整備について》

- 今年度は意見なし

《園行事について》

- いつもありがとうございます。幼稚園でのさまざまな取り組みや催し物で日々の成長を感じています。
- いつも子どもが楽しめる企画や取り組みをありがとうございます。お陰様で楽しく通っている様子です。先生方、お友達には感謝しかありません。

《その他》

- すわせいぼと交流できる機会があるとよいと思います。

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。

「 3 今年度のまとめと今後の方向」に園としての考えを記述させていただきました。

3. 今年度のまとめと今後の方向について

【園の教育方針・目標の理解について】

子どもに願う姿・子どものよい姿等に挙げられているものは、園で目指している方向と全てつながっていました。保護者にも園で目指している方向が浸透していることが伺えます。今後も子どもたちの成長や変容を保護者に積極的に伝えて参ります。

【職員の子どもとの関わりについて】

温かなお言葉ありがとうございます。

子どもをしっかりと見て、ひとりひとりの子どもの願いや思いをしっかりと受けとめ、保護者の皆様に寄り添い、子どもたちが笑顔で園生活を送れるよう、また保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう日々取り組んでいきたいと思ひます。

【行事のあり方について】

園でもコロナ禍を経て、行事のあり方を職員で検討を重ね試行錯誤しながら実施して参りました。運動会、クリスマス会、遠足等、行事を通して、子どもたちの大きな成長が見られました。今後も、必要なもの、不要なものを精査し、子どもたちの成長のために何を大切にするかを考え、子どもたち・保護者・保育者が共に満足できるようなものとなるよう創意工夫して参ります。

【安全対策について】

園バスには安全装置を付け、運転手・添乗職員の二人体制で子どもの乗車降車を確認し、安全管理をして参りました。バス利用の保護者の皆さまにもご協力いただき、感謝しております。

【地域との連携について】

地域に開かれた園を目指し取り組んで参りますが、地域に根付いている公立の園と比べると活動は少なく感じられるかもしれません。私立の幼稚園であること、また多方面の地域から在園している園児が多い中で、どのような活動をすることが地域に開かれた園となるのかは、今後も引き続き考えて参りたいと思ひます。仲町区との皆様との交流（畑作り、焼き芋）、紙芝居・語りボランティアの方々との交流、また子育て支援には引き続き、積極的に取り組んで参ります。

【預かり保育について】

半日保育の時のみ、人数が多い時に、トラブルや怪我防止のために、クールダウンの時間として、DVDを

視聴して参りました。長時間にならないようにいたしますので、ご理解をお願いいたします。

【幼保小連携について】

本園が比較的少人数であり縦割りクラス編成であるため、課題として同年齢の子どもとの関わりやコミュニケーション能力が挙げられていました。これからの社会を生き抜いていくためには、多様な人と関わる力をつけていく必要があります。本園の子どもたちは少人数ながら、縦割り・横割りの活動の中でも友と関わりながら学ぶ素晴らしい姿が見られます。小学校入学に向けて、幼保小連携の中で、本園の子どもたちの具体的な良さ、卒園生が小学校でも生き生きと活躍している姿を積極的に保護者にも発信していくことができるよう努めて参ります。

【保護者との連携について】

園日より「なかよし」、クラス日より、学年日より、パステル Apps、電話連絡、個人懇談等を利用し、出来得る限り努めております。今年度はホームページのトピックス、園庭入口の掲示版に写真等を掲載し子どもの様子をお伝えするよう努めて参りました。しかし、預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか様子をお話できない現状があります。今後は、他園の取組を研究したり、アプリ「てのりの」を活用したりし、おこ様の園での様子をお伝えできるように努めて参ります。

保護者の皆様に安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、今後も相互理解が図れるようためにも、改善をしていきたいです。

【保護者会について】

認定子ども園となり、働く保護者が増えて参りました。保護者からも負担軽減を望む声があがっています。保護者会と共に、保護者の皆様のご意見を集約し、子どもたちにとって、また保護者にとって何が必要かを吟味し、検討して運営して参ります。

【施設管理等について】

○園庭の改善については、10年以上前から懸案事項です。一昨年度、園庭整備の専門業者とも相談を重ねて参りました。芝生化するとぬかるみは解消できますが、整備に数千万円、維持管理費が年間数百万円と費用がかなりかかることが明らかになりました。また、園舎建築後30年が経過し、大規模修繕をする時期となっています。長期的な園全体の修繕整備計画の中で、優先順位を考え検討してきました。

令和4年度はトイレとフェンス・門柱。令和5年度はLED化の工事を実施しました。

現在園舎の雨漏りがひどく、令和6年度は屋根と外壁の改修を予定しておりましたが、国の補助金が申請がなく、実施できませんでした。令和7年度に申請を行い実施予定です。令和7年度は、教室や廊下等のクロス張替え・ストーブの取替工事が必要です。国・県・市の補助金申請をしながら、進めて参ります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

【その他】

○「パステル Apps アプリ」でアンケートに回答する時、中断したい時、後で続きをやりたい時は、一旦回答済みになしてください。その後、回答の修正をすることができます。

○今後も子どもたちや保護者の皆様に寄り添い、子どもたちが笑顔で園生活を送れるよう、また保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう日々取り組んでいきたいと思っております。